

# 婚姻届

令和 年 月 日届出

沖縄県沖縄市長 殿

令和 年 月 日  
午前 時 分受領  
午後

夫  
□免 □旅 □住  
□マ □他 □無  
( )

不受理  
□有 □無

通知  
□要 □不要

妻  
□免 □旅 □住  
□マ □他 □無  
( )

不受理  
□有 □無

通知  
□要 □不要

送付  
令和 年 月 日

使者  
□免 □旅 □住  
□マ □他 □無  
( )

通知  
□要 □不要

確認  
通知

受理 令和 年 月 日		発送 令和 年 月 日						
第 号		長印						
送付 令和 年 月 日								
第 号								
		書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知
(よみかた) 氏 名		夫 に な る 人		妻 に な る 人				
		氏	名	氏	名			
生年月日		昭和・平成 年 月 日		昭和・平成 年 月 日				
住 所 〔住民登録をして いるところ〕		丁目 番地		丁目 番地				
		番 号		番 号				
		(マンション アパート名等)		(マンション アパート名等)				
		世帯主 の氏名		世帯主 の氏名				
本 籍		都道府県		都道府県				
		番地		番地				
		丁目 番		丁目 番				
		筆頭者 の氏名		筆頭者 の氏名				
父 母 の 氏 名 父 母 と の 続き柄 〔他の養父母はその他の 欄に書いてください〕		父		続き柄		父		続き柄
		母		男		母		女
婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍		□夫の氏 □妻の氏	新本籍 (左の□の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください)		都道府県		丁目	番地
番地		番						
同居を始めたとき		年 月		(結婚式をあげたとき、または、 同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)				
初婚・再婚の別		夫 □初婚 再婚 (□死別 □離別)	妻 □初婚 再婚 (□死別 □離別)	年 月 日				
同居を始める前の 夫婦のそれぞれの 世帯のおもな仕事と		夫	妻	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が 1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または 1年未満の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯				
夫婦の職業		夫の職業		妻の職業				
その他								
届出人 署名押印		夫 印		妻 印				
事件簿番号		住所を定めた年月日		連絡先				
		夫	年 月 日	夫				
		妻	年 月 日	妻				

## 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキ、こすると消えるペンで書かないでください。  
土曜日、日曜日や祝日でも届けることができます。届出日が婚姻した日となります。  
(この場合、宿直等で取扱うので、事前に、戸籍担当係で審査を受けるようにしてください。)  
届書は、1通でさしつかえありません。  
この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、  
あらかじめ用意してください。

署名 押印	印	
	生年月日	昭和・平成 年 月 日
住 所		
	丁目 番地	番 号
	(マンション アパート名等)	
本 籍	都道府県	
	番地	番地

- 「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。  
外国籍の方は国名のみを記入し、筆頭者の氏名欄は空欄として下さい(例:アメリカ合衆国)
- 父母がいま婚姻しているときは、母の氏は書かないで、名だけを書いてください。  
養父母についても同じように書いてください。  
□には、あてはまるものに□のようにしるしをつけてください。
- 夫婦は同一の氏を称することになります。夫が妻の氏いずれかを選んでください。  
外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、  
新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。
- 再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。  
内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく  
基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

- 署名は必ず本人が自署してください。
- 印は各自別々の印を押してください。
- 届出人の印をご持参ください。

